

## ▼シンボニー皮下注射シリンジ [注]

【重要度】 【一般製剤名】ゴリムマブ (遺伝子組換え) Golimumab (genetical recombination) 【分類】抗リウマチ剤 [抗TNF $\alpha$ ヒトモノクローナル抗体]

【単位】▼50mg/Syr

【常用量】■MTX 併用：1回 50mg を4週に1回皮下注射 [状態に応じて1回 100mg] ■MTX 非併用：1回 100mg を4週に1回皮下注射

【用法】4週に1回皮下注

【透析患者への投与方法】感染症に厳重に注意して適用 (5) 【その他の報告】MTX 非併用で HD 患者に適用した3例は有効 [1例で肺クリプトコッカスを発症] (吉永泰彦, 他: 透析会誌 48: S426, 2015)

【保存期 CKD 患者への投与方法】感染症に厳重に注意して適用 (5)

【特徴】ヒト腫瘍壊死因子 $\alpha$ に対する遺伝子組換えヒト IgG1 モノクローナル抗体で、456個のアミノ酸残基からなるH鎖 ( $\gamma$ 1鎖) 2分子及び215個のアミノ酸残基からなるL鎖 ( $\kappa$ 鎖) 2分子で構成される糖タンパク質。既存治療で効果不十分な関節リウマチに対して、MTX と併用あるいは非併用で適用される。

【主な副作用・毒性】重篤な感染症、結核、脱髄疾患、血液障害、うっ血性心不全、過敏症、めまい、発熱など

【吸収】ka=0.668/day (1)

【F】52.1% (1)

【tmax】3.5~5.5日 (1)

【代謝】リソソーム内で小ペプチド及びアミノ酸に加水分解されると推測 (1)

【排泄】分子量が大きいため尿中には排泄されない (1) 【CL/F】15.21 $\pm$ 3.88mL/day/kg (1)

【t1/2】12日 (1)

【蛋白結合率】資料なし (1)

【Vd】0.12L/kg [iv] (1) 0.25L/kg [sc] (1)

【MW】149802~151064

【透析性】分子量が大きく透析されないとされる (5)

【O/W 係数】

【主な臨床報告】新規発症の1型DMにおいて、内因性インスリン分泌能が保たれてインスリン必要量が低下 (Quattrin T, et al: N Engl J Med 2020 PMID: 33207093)

MTX抵抗性のRA例での追加投与によりACR20達成率上昇し、身体機能評価も改善[GO-FORWARD] (Conaghan PG, et al: Ann Rheum Dis 2011 PMID: 21784729)

【備考】結核感染リスクが高い患者ではTNF阻害薬開始3週間前よりイソニアジド内服 (原則として300mg/日、低体重者には5mg/kg/日に調節) を6~9ヶ月行なう (関節リウマチに対するTNF阻害薬使用ガイドライン2017)

【更新日】20211113

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。